

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉

(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営
常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

どの企業でも品質問題が発生するとその原因を調べ対策する。ところが慢性的に品質問題が発生しているにもかかわらず、いつのまにか鈍感になってしまい、放置されている現場がある。外部から来た人間からすると、

これは一体どういうことかということになるのだが、恐ろしいもので、多くの不良が出ていても慢性的に出ていると異常と思われなくなっているケースもあるのだ。

慢性的不良には、工程不良もあれば、市場不良もある。工程不良で多いのはリサイクルできる場合だ。「不良が多いです」と質問しても「これはリサイクルできますので」と返事されることが多い。リサイクルできるので材料はムダに

ろうか。それは、適切な不良削減のアプローチができておらず、結果、不良を無くすることは難しいということになってしまっている。また、お客様

の元に届くまでに不良品にしていることもある。どのような環境でどのように保管されているのか、どのような荷扱いをされているのか、これらの解決には、現場、現物、現実での確認が必須だ。すなわち、不良対策が進

まない大きな要因は、3現主義が徹底されていないことが多いことだ。推測で言うところ、真の不良原因を把握するた

意外に多い慢性不良 前回は、「品質問題の恐ろしさ」というテーマを書いた。11月は品質月間なので、今週も引き続き品質に関する内容を記載することに

慢性不良には、工程不良もあれば、市場不良もある。工程不良で多いのはリサイクルできる場合だ。「不良が多いです」と質問しても「これはリサイクルできますので」と返事されることが多い。リサイクルできるので材料はムダに

慢性不良の原因は？ ところで、このように真に不良を無くそうという意識が低くなっている企業では、いつの間にか、慢性不良の削減は難しいものということになってしまっている。その原因はどこにあるだ

ろうか。それは、適切な不良削減のアプローチができておらず、結果、不良を無くすることは難しいということになってしまっている。また、お客様

の元に届くまでに不良品にしていることもある。どのような環境でどのように保管されているのか、どのような荷扱いをされているのか、これらの解決には、現場、現物、現実での確認が必須だ。すなわち、不良対策が進

まない大きな要因は、3現主義が徹底されていないことが多いことだ。推測で言うところ、真の不良原因を把握するた

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

また、慢性的な市場不良では、「再現ができない」とか、「お客様の感覚によるので」とか「使い方によるので」と言われることがある。現場の皆さんの立場からすると、仕方がないという感覚になっていくことが多い。

3現主義とは、現場、現物、現実のことだ。実際にお客様のところへ出向いて、いつ、どこで、どのような使い方をしているのかを調べてみる。現場から不良と返品された商品だけを見て、自社の規格と照らし合わせて不良ではないのだからとか、お客様が言われた不良が再現できないというところ、このように真に不良を無くそうという意識が低くなっている企業では、いつの間にか、慢性不良の削減は難しいものということになってしまっている。また、お客様

の元に届くまでに不良品にしていることもある。どのような環境でどのように保管されているのか、どのような荷扱いをされているのか、これらの解決には、現場、現物、現実での確認が必須だ。すなわち、不良対策が進

まない大きな要因は、3現主義が徹底されていないことが多いことだ。推測で言うところ、真の不良原因を把握するた

コンサルタントの現場から

ならないので問題ないと思われるというところだ。確かに材料費のムダは発生していないかもしれないが、加工費はすべてムダになっていく。その分コストアップになると共に生産性も悪くなっている。

また、慢性的な市場不良では、「再現ができない」とか、「お客様の感覚によるので」とか「使い方によるので」と言われることがある。現場の皆さんの立場からすると、仕方がないという感覚になっていくことが多い。

3現主義とは、現場、現物、現実のことだ。実際にお客様のところへ出向いて、いつ、どこで、どのような使い方をしているのかを調べてみる。現場から不良と返品された商品だけを見て、自社の規格と照らし合わせて不良ではないのだからとか、お客様が言われた不良が再現できないというところ、このように真に不良を無くそうという意識が低くなっている企業では、いつの間にか、慢性不良の削減は難しいものということになってしまっている。また、お客様

の元に届くまでに不良品にしていることもある。どのような環境でどのように保管されているのか、どのような荷扱いをされているのか、これらの解決には、現場、現物、現実での確認が必須だ。すなわち、不良対策が進

企業情報、掲載します
新製品・サービスなど
企業情報を掲載させていただきます。
掲載ご希望の企業の方は下記までご連絡ください
バンコク週報 info@bangkokshuho.com

バンコクエアウェイズで飛ぶ
ベトナムのパラダイスアイランド
新路線
バンコクからベトナム最大の島フーコックへ
2017年10月29日より
週4往復運航

スワンナプーム空港のラウンジはご利用クラスに関係なく皆様にご利用いただけます。

全てのフライトで機内食をお楽しみいただけます。

きめ細やかなサービスで皆様をお迎えいたします。